

一般職試験（行政）【本省労働系】



若手職員の打ち合わせの様子。若手職員が積極的にアイデアを出しています。



職場のパワーハラスメント防止のポータルサイト周知広報に関するポスター

働くことがもっと楽しくなる社会をつくりたい

働くことで自分の夢を叶える、働くことで生計を立て家族を持つ、働くことで仲間ができる、働くことで社会に貢献する、働くことは私たちにたくさんのことを与えてくれます。働くことがもっと楽しい社会になるように、厚生労働省で一緒に考える仲間をお待ちしています。



働く場で男女間格差を解消するため、企業による積極的な取り組み「ポジティブ・アクション」を進めています。



障害者雇用優良事業所等全国表彰式の様子。企業等に法定の雇用率を設定し、障害者の雇用を促進しています。

○ キャリアパス

入省後、約8年で係長として各業務の中心になります。その後、課長補佐を経験したり、労働局の幹部や本省の課長、室長として、課・室の業務の総責任者を経験することも。

○ 主な勤務地

厚生労働本省、都道府県労働局、労働基準監督署、ハローワーク、他省庁、独立行政法人

○ 採用実績

- ・平成25年度 14人(5人)
 - ・平成26年度 24人(7人)
 - ・平成27年度 43人(15人)
 - ・平成28年度採用予定 40人(21人)
- ※カッコ内は女性の人数

○ 試験に関するお問い合わせ

厚生労働省大臣官房人事課任用第二・第三係
03-5253-1111(内線7079、7080)

「働く」ことの大切さ

人は、なぜ働くのでしょうか。社会貢献のため、自己実現のため、生活の糧を得るため、働く理由は、人によってさまざま。それでも、人生の多くの時間を「働く」ことに費やします。生き生きと働く姿は、家族の誇りとなり、安心を与えます。男性も女性も、働く姿は、キラキラとかがいいものです。そんな「働く」ことをさまざまな角度から支えることが、労働行政の役割です。

最低賃金を定める、労働災害に遭った方への補償をする、失業した人が安心して再就職できる環境をつくる、職業訓練を実施する、女性が働き続けることができる社会をつくる。

労働行政が取り組んでいるのは、人生の多くの時間を費やす「働く」ことに関する課題です。本省では、この課題を解決するために、制度の策定や予算の確保などの業務を行います。

働く人の「働く」をもっと「働く」ことのために働いてみませんか。

「働く」ことの大切さ